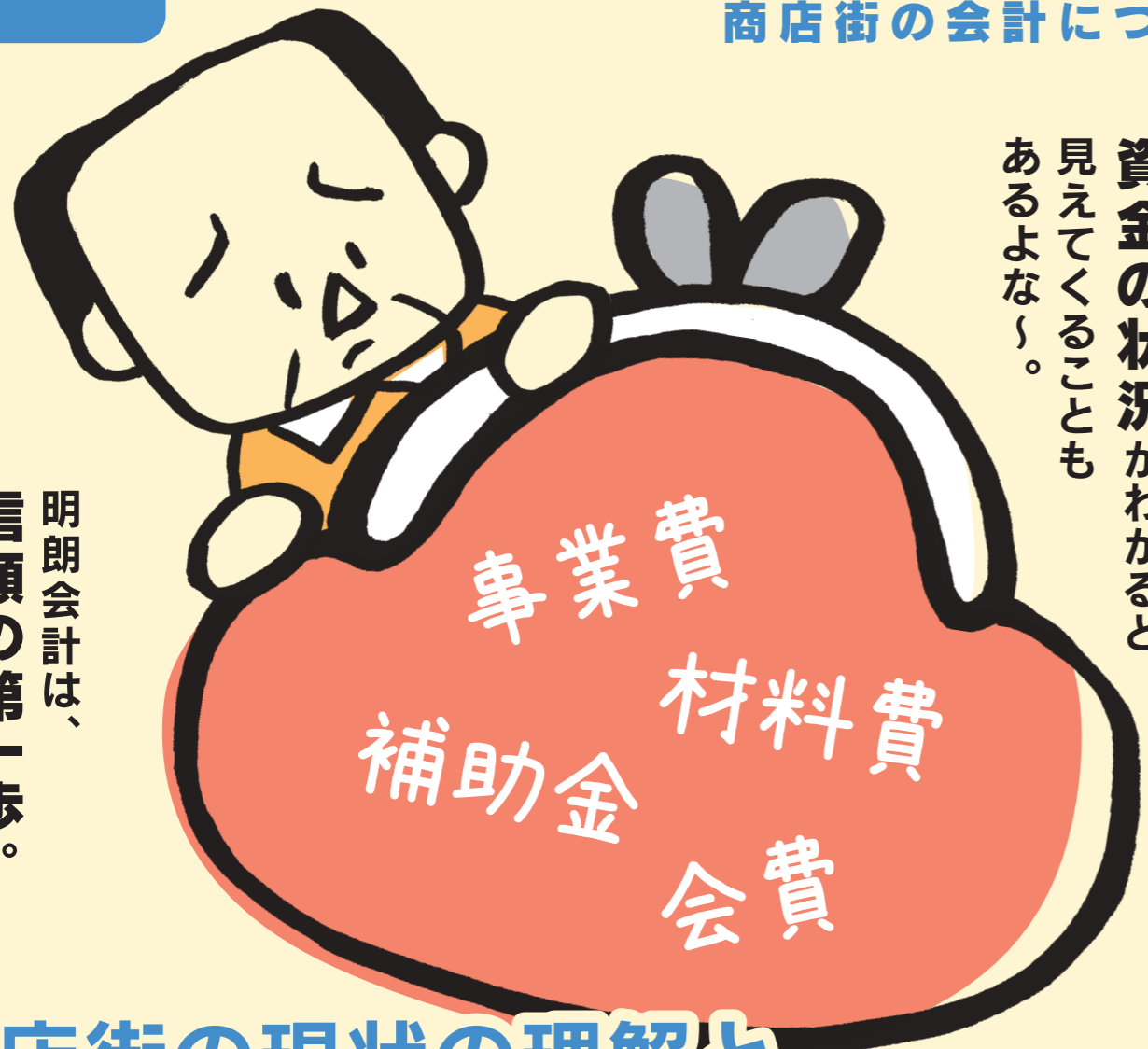


# 4

# 基本理の管の金の運

商店街の会計について

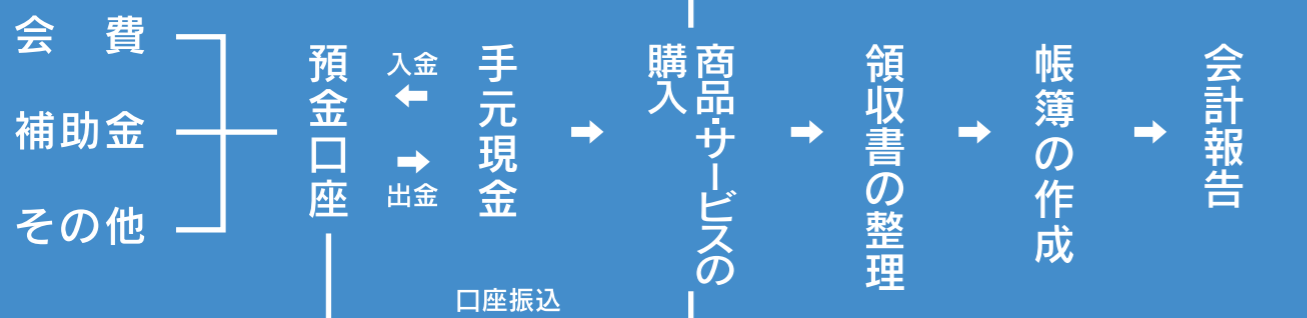


商店街の資金の状況がわかると見えてくることもあるよな。

明朗会計は、信頼の第一歩。

## 商店街の現状の理解と信頼を得るために。

会計報告までの流れ



### 課題

- 収入と支出の管理がされておらず、決算書も作成していない。
- 商店街の会員が、会費がどのように使われたか知らない。

これが大切

商店街のお金の管理は、会員同士の信頼関係を築く上で非常に大切です。会の運営を計画的に行うためにも、最低限の収支管理、資産管理が必要です。また、会費がどのように使われたかを報告するのは、商店街の責務です。1年に1回程度は、報告の場を設けるようにしてください。

これから始める

## 簡潔で明瞭な方が会計はやりやすい

商店街の事業では様々な支払い行為が発生します。その領収書は膨大な量になりますが、それを後でまとめて処理しようとする大変な作業になりますし、紛失の恐れもあります。効率的な処理を行うためにも、領収書をもとに帳簿をつけてみてください。

### ① 預貯金の出し入れ時に記帳する習慣を

預貯金を出し入れする場合は、通帳をこまめに記帳し、出し入れの内容を記入しましょう。また、事業ごとに通帳を分けると、効率的に管理できます。

### ② 領収書の管理

- 領収書に必要な情報が記載されているか確認する。

後で見返して何の領収書かわからないと困ります。請求書や納品書も領収書と併せて保管してください。

- 領収書はためこまずにすぐにノートに貼る。

領収書や請求書等をノートに貼って管理すると、紛失の恐れがなく効率的な管理ができます。経常的な支出であれば、月一回の集まりなどで領収書を持ち寄り、皆さんで作業するのもよいでしょう。また、事業ごとにノートを分けるとさらに分かりやすくなります。

- 帳簿を作成する。

ノートに貼った領収書をもとに帳簿をつけます。

また帳簿をもとに一年間の収支報告書を作成し総会などで報告しましょう。

### ③ 資産や備品は台帳へ記入

装飾灯やアーチなどの施設は商店街が所有する資産です。また、テント、三角コーン、拡声器などの長期的に使用できるものは備品として管理する必要があります。資産や備品は、購入・更新・修理・廃棄の都度、台帳にその履歴を記入しておくと、紛失を防ぐことができますし、購入計画も立てやすくなります。

会計の管理は面倒ではありますが、習慣的にやっていると商店街の実情を把握する助けになります。帳簿の作成など、一度やってしまえばそれほど大変な作業ではありません。

なににお金がかかるのか、意外なムダを見つける事もできます。商店街のなかに、会計士、税理士といった職業の方がいたら、協力を要請するのもよいかもしれません。

### ワンポイント!

事業ごとに通帳を分け、入金・入金の差額で領収書の付け合わせをしてみましょう。

事業費として30万円入金 残高30万円  
材料費として10万円出金 残高20万円  
(材料を購入)

材料費不要額1万円入金 残高21万円  
(領収書と付け合わせを行う)

### 利用できる制度

- 再生支援事業 [大田区]
- 商店街振興組合等推進事業 [大田区]
- 商店街パワーアップ作戦 [東京都]